

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大島商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	商船学科				14	14	7	
	電子機械工学科				9	9	7	
	情報工学科				10	10	7	
	海洋交通システム学専攻			4	10	14	7	
	電子・情報システム工学専攻				6	10	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=37">https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=37</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大島商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02\\_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/NewFolder/yakuinmeibo\(20200401\).pdf](https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/NewFolder/yakuinmeibo(20200401).pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	熊本大学長	2016年4月1日～ 2024年3月31日	理事長
常勤	豊橋技術科学大学 理事・副学長	2020年4月1日～ 2022年3月31日	研究・産学連携 情報システム
非常勤	東京大学教授	2014年4月1日～ 2022年3月31日	男女共同参画推進
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大島商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>前年度 1 2 月より、授業担当教員にシラバス作成を依頼し、1 月末をめどに提出させている。</p> <p>提出されたシラバスは、教務委員会で確認の上、Web シラバスで公開している。</p> <p>学生には、ホームページ上でのシラバスの確認、および、1 回目の授業時に該当科目のシラバスを配布によって、授業の方法および内容、到達目標、成績評価等について周知している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=37">https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=37</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>「大島商船高等専門学校学業成績の評価並びに進級及び卒業の認定に関する規程」及び「大島商船高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規程」に則り、授業計画(シラバス)にてあらかじめ周知されている評価割合に基づき、厳格かつ適正に単位授与または履修認定を実施している。</p> <p>定期試験については、すべての答案を PDF 化して保管している。実験実習等のレポートは、学生が卒業するまで担当教員が保管している。また、卒業研究は、JABEE 準拠のルーブリックを用いて評価している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>前期末及び学年末成績について成績会議で認定された評点により、個人の評点の平均を小数点以下第1位までを算出し、平均点の大きい者を上位とし、順位付けを行っている。上記にて設定した算出方法により、成績分布状況を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="http://www.oshima-k.ac.jp/other/pub-kyouiku.html">http://www.oshima-k.ac.jp/other/pub-kyouiku.html</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>大島商船高等専門学校学業成績の評価並びに進級及び卒業に関する規程により、卒業認定会議を開催の上、校長が卒業・修了を認定している。</p> <p>(1) 学則に定める各学年の必修科目及び履修最低単位数に相応する選択科目を履修すること。</p> <p>(2) 修得累計単位数が167単位以上（そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上）であること。ただし、商船学科については、修得累計単位数が147単位以上（そのうち、一般科目75単位以上、専門科目62単位以上）であること。</p> <p>(3) 卒業研究を修得していること。</p> <p>(4) 商船学科については、大型練習船実習課程を修了していること。</p> <p>(5) 大型練習船実習課程のうち卒業年次の6月についてはやむを得ない事由により履修が困難であると校長が認める場合は、校長が別に定める措置とすることができる。</p> <p>(専攻科) 学則及び大島商船高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規程により、修了を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="http://www.oshima-k.ac.jp/other/pub-kyouiku.html">http://www.oshima-k.ac.jp/other/pub-kyouiku.html</a>  <a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/diploma.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/diploma.html</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大島商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf">https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf">https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf</a>
財産目録	
事業報告書	<a href="https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/H30jigyohokokusho1.pdf">https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/H30jigyohokokusho1.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kanjiikenH30.pdf">https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kanjiikenH30.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画 対象年度:令和2年度)
公表方法: <a href="https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/nendo-R2.pdf">https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/nendo-R2.pdf</a>
中長期計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画 対象年度:平成31年(2019年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで)
公表方法: <a href="https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/chuukikeikaku-4th.pdf">https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/chuukikeikaku-4th.pdf</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="http://www.oshima-k.ac.jp/other/pub-open.html">http://www.oshima-k.ac.jp/other/pub-open.html</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:
-------

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 商船学科
教育研究上の目的 (公表方法： <a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/rinen.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/rinen.html</a> ) (概要) 1 豊かな教養と国際感覚を身につけた、視野の広い技術者を養成する 2 協同の精神と責任感を培い、集中力・耐久力を養い、指導者として必要な能力を育成する 3 探究心を養い、身体を鍛え、先人の遺産を学び、新技術を創造できる能力を育成する
卒業の認定に関する方針 (公表方法： <a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/diploma.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/diploma.html</a> ) (概要) <b>商船学科</b> 商船学科では、本校に在籍し学科教育目標に基づく以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定する。 (1) 船舶運航及び管理に必要とされる専門技術と知識を有し、課題を発見し解決できる能力 (2) 海技従事者としてのチームワーク、リーダーシップ及びコミュニケーション能力 (3) 豊かな教養と倫理観、責任感を有し、社会に貢献できる能力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： <a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/curriculum.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/curriculum.html</a> )
<b>商船学科</b> では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を身につけるために、以下の科目群を開設する。 (1) 一般基礎科目：豊かな教養、国際的感覚、コミュニケーション能力、倫理観と責任感を身につけるために、数学系、自然科学系、語学系、人文社会系、保健体育、芸術などの科目を開設する。 (2) 工学基礎科目：船舶運航に必要な工学系基礎科目を開設する。 (3) 商船系専門科目：海技従事者として、船舶運航に必要な専門知識と技術修得のため、航海系及び機関係の科目を開設する。 (4) 実験実習・卒業研究に関する科目：海洋海事分野において社会に貢献できる人間力を育成するために、実験実習、乗船実習、卒業研究などを開設する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： <a href="http://www.oshima-k.ac.jp/exam/honka/gaiyou.html">http://www.oshima-k.ac.jp/exam/honka/gaiyou.html</a> ) (概要) 大島商船高等専門学校(本科) 1. 高専入学後の学習に対応できる基礎学力を身につけている人 2. 学校生活に必要な協調性、責任感、コミュニケーション能力を身につけている人 3. 社会や集団のルールを守ることができる人 4. 海事分野または工業分野に関する専門知識と技術の習得に意欲のある人 5. 専門知識と技術を身につけ、新しい技術の創造に挑戦する意欲のある人

<p>学部等名 電子機械工学科</p>
<p>教育研究上の目的  (公表方法：<a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/rinen.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/rinen.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 豊かな教養と国際感覚を身につけた、視野の広い技術者を養成する</li> <li>2 協同の精神と責任感を培い、集中力・耐久力を養い、指導者として必要な能力を育成する</li> <li>3 探究心を養い、身体を鍛え、先人の遺産を学び、新技術を創造できる能力を育成する</li> </ol>
<p>卒業の認定に関する方針  (公表方法：<a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/diploma.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/diploma.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p><b>電子機械工学科</b></p> <p>電子機械工学科では、本校に在籍し学科教育目標に基づく以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 電子・電気工学、機械工学に関する専門知識を有し、問題を解決できる能力</li> <li>(2) コンピュータ・情報に関する知識を有し、コンピュータを活用できる能力</li> <li>(3) 報告書や論文など論理的文章の作成、ならびに学術的プレゼンテーションができる能力</li> <li>(4) 福祉や環境を考慮に入れるなど豊かな人間性と責任感を持って行動できる能力</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針  (公表方法：<a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/curriculum.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/curriculum.html</a>)</p>
<p><b>電子機械工学科</b>では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を身につけるために、以下の科目群を開設する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 一般基礎科目：豊かな教養、国際的感覚、コミュニケーション能力、倫理観と責任感を身につけるために、語学系、人文社会系、保健体育、芸術などの科目を開設する。</li> <li>(2) 工学基礎、情報基礎科目：電子・電気工学、機械工学の基礎科目として数学、物理、化学などの科目、コンピュータ・情報の基礎として情報リテラシ、プログラミングなどの科目を開設する。</li> <li>(3) 電子・電気工学系、機械工学系専門科目：電子・電気工学に関する専門科目として電気基礎、電子回路、電気回路などの科目、機械工学に関する専門科目として機械工作、機械設計、材料力学などの科目を開設する。</li> <li>(4) 専門的能力の実質化のための科目：電子・電気工学、機械工学に関する論理的文章の作成、学術的プレゼンテーションができる能力を養うための応用科目として実験実習、キャリアデザイン、卒業研究などを開設する。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針  (公表方法：<a href="http://www.oshima-k.ac.jp/exam/honka/gaiyou.html">http://www.oshima-k.ac.jp/exam/honka/gaiyou.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>大島商船高等専門学校(本科)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高専入学後の学習に対応できる基礎学力を身につけている人</li> <li>2. 学校生活に必要な協調性、責任感、コミュニケーション能力を身につけている人</li> <li>3. 社会や集団のルールを守ることができる人</li> <li>4. 海事分野または工業分野に関する専門知識と技術の習得に意欲のある人</li> <li>5. 専門知識と技術を身につけ、新しい技術の創造に挑戦する意欲のある人</li> </ol>

学部等名 情報工学科
教育研究上の目的 (公表方法： <a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/rinen.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/rinen.html</a> )
(概要) 1 豊かな教養と国際感覚を身につけた、視野の広い技術者を養成する 2 協同の精神と責任感を培い、集中力・耐久力を養い、指導者として必要な能力を育成する 3 探究心を養い、身体を鍛え、先人の遺産を学び、新技術を創造できる能力を育成する
卒業の認定に関する方針 (公表方法： <a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/diploma.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/diploma.html</a> )
(概要) <b>情報工学科</b> 情報工学科では、本校に在籍し学科教育目標に基づく以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定する。 (1) 数学・自然科学・工学の基礎知識と情報工学の専門知識を活用し課題を解決する能力 (2) グループリーダーとしての責任感・倫理観、他者と協働するためのコミュニケーション能力及び自らの考えを明確な言葉で表現するプレゼンテーション能力 (3) 情報工学の実験・演習や研究活動を通じて柔軟で創造的に情報システムをデザインする能力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： <a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/curriculum.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/curriculum.html</a> )
<b>情報工学科</b> では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を身につけるために、以下の科目群を開設する。 (1) 一般基礎科目：グループリーダーとしての責任感・倫理観を身につけ、高いコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身につけるために、語学系、人文社会系、保健体育、芸術などの科目を開設する。 (2) 工学基礎科目：情報工学並びに関連専門科目の基礎となる数学、物理、化学などの数学・自然科学系科目を開設する。 (3) 情報工学系専門科目：豊富な情報技術を身につけるために、ソフトウェア系、コンピュータシステム系、情報通信ネットワーク系、情報数学・情報理論系などの情報工学専門科目を開設する。課題を解決するための幅広い知識を身につけるために機械系、電気・電子系専門基礎科目を開設する。 (4) 実験実習・創造演習・卒業研究に関する科目：柔軟かつ創造的にシステムをデザインする能力を身につけるために実験実習、創造演習、卒業研究などを開設する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： <a href="http://www.oshima-k.ac.jp/exam/honka/gaiyou.html">http://www.oshima-k.ac.jp/exam/honka/gaiyou.html</a> )
(概要) 大島商船高等専門学校(本科) 1. 高専入学後の学習に対応できる基礎学力を身につけている人 2. 学校生活に必要な協調性、責任感、コミュニケーション能力を身につけている人 3. 社会や集団のルールを守ることができる人 4. 海事分野または工業分野に関する専門知識と技術の習得に意欲のある人 5. 専門知識と技術を身につけ、新しい技術の創造に挑戦する意欲のある人



<p>学部等名 海洋交通システム学専攻</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：<a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/rinen.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/rinen.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 豊かな教養と国際感覚を身につけた、視野の広い技術者を養成する</li> <li>2 協同の精神と責任感を培い、集中力・耐久力を養い、指導者として必要な能力を育成する</li> <li>3 探究心を養い、身体を鍛え、先人の遺産を学び、新技術を創造できる能力を育成する</li> </ul>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：<a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/diploma.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/diploma.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p><b>海洋交通システム学専攻</b></p> <p>本専攻では、陸上と船舶をつなぐ視点および陸上の視点から、物流・輸送システムやプラント等の設計・開発等の海事関連分野において、新たな物流・輸送システム、エネルギープラント等の設計・開発などのシステム創生を担える海事技術者を育成する。このような人材育成目標に到達するために、所定の単位を修得し、かつ以下の能力と素養を身につけた学生に修了を認定する。</p> <p>A 地球環境の視点と倫理観を持ち、国際性を身につけた海洋交通システム技術者</p> <p>A-1 文化や歴史を踏まえ国際社会で生じる様々な現象について総合的に把握することができる。</p> <p>A-2 社会や環境に与える影響を考慮し、経済的・倫理的な視点から考えることができる。</p> <p>B 海・船・物流等に係る知識・技術を身につけ、海陸の複合領域で活躍できる人材</p> <p>B-1 商船学分野における諸現象の仕組みを数学的・物理的に理解できる。</p> <p>B-2 船舶運航に関する航海学、運用、主機関ならびに補助機関に関する分野について理論的に説明できる。</p> <p>B-3 船舶とその運航に関する総合的な分野の実験・実習を通して、理論的に考察し、活用することができる。</p> <p>C 自然に優しく、人の営みを支える海事関連システムを設計・開発できる人</p> <p>C-1 日本語・外国語により書かれた文章を理解し、文章や口頭発表により表現することができる。</p> <p>C-2 個人またはグループで計画的にプロジェクトを進め、創造的なシステムを実現することができる。</p> <p>C-3 新しい海事に関するシステムや概念を創生し、表現することができる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：<a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/curriculum.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/curriculum.html</a>)</p>
<p><b>海洋交通システム学専攻</b>では、物流・輸送システムやエネルギープラント等の設計・開発等の海事関連分野において、グローバルな視点からシステム創生を担える海事技術者を育成する。具体的には、教育目標に沿って以下の教育課程を編成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 本科で学んだ海事技術・地球環境・国際性を共通基礎分野として、海洋交通・エネルギーシステムの開発、設計を目指し、商船学および理工学を主とした関連分野の高度な知識や技術に関する科目を体系的に編成する。</li> <li>2. PBL 教育*や海外インターンシップ等を取り入れ、問題発見解決へのアイデアの着想からシステムの設計・開発までのシステム創生に必要な能力や語学能力の育成等、実践的な専門能力と技術英語・数学物理演習等の科目を横断的有機的に結合した教育課程を編成する。</li> </ul>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：<a href="http://www.oshima-k.ac.jp/exam/senkouka/gaiyou.html">http://www.oshima-k.ac.jp/exam/senkouka/gaiyou.html</a>)</p>

<p>(概要)</p> <p>(専攻科)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 商船学もしくは工学の基本的な知識を習得している人</li> <li>2. 基礎学力をさらに深め、実践力を有するデザイン能力を身につけたい人</li> <li>3. 研究・開発能力を身につけ、自主的、継続的に努力できる人</li> <li>4. 技術者倫理を尊重し、グローバルな視野を有する専門家として社会に貢献したい人</li> </ol>
---

学部等名 電子・情報システム工学専攻
--------------------

<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：<a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/rinen.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/rinen.html</a>)</p>
---

<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 豊かな教養と国際感覚を身につけた、視野の広い技術者を養成する</li> <li>2 協同の精神と責任感を培い、集中力・耐久力を養い、指導者として必要な能力を育成する</li> <li>3 探究心を養い、身体を鍛え、先人の遺産を学び、新技術を創造できる能力を育成する</li> </ol>
--

<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/diploma.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/diploma.html</a>)</p>
--

<p>(概要)</p> <p><b>電子・情報システム工学専攻</b></p> <p>本専攻では、メカトロニクス、ソフトウェア、電子・電気、ネットワークの技術を身につけ、これらを有機的に結びつけることにより、利便性・効率性・信頼性そして持続的社会的形成を考慮したロボット技術、情報システム、電子知能システムあるいはそれらを複合・融合した電子・情報システムが創生できる人材を育成する。このような人材育成目標に到達するために、所定の単位を修得し、かつ以下の能力と素養を身につけた学生に修了を認定する。</p> <p>A 国際的な視野と倫理観に基づく価値判断ができる電子情報システム技術者</p> <p>A-1 文化や歴史を踏まえ国際社会で生じる様々現象について統合的に把握することができる。</p> <p>A-2 社会、福祉や環境に与える影響を考慮し、経済的・倫理的な視点から考えることができる。</p> <p>B メカトロニクス・ソフトウェア・ハードウェア・ネットワークのアーキテクチャ技術を身につけ、高度な情報化社会に貢献できる電子情報システム技術者</p> <p>B-1 工学分野における諸現象のしくみを数学的・物理的に理解できる。</p> <p>B-2 電子・電気、機械分野及び情報通信分野について理論的に説明できる。</p> <p>B-3 電子・電気、機械分野及び情報通信分野の実験・演習を通して、工学的に考察し、活用することができる。</p> <p>C ものづくりを通して、メカトロニクス、知能システムを設計・構築・提案できる電子情報システム技術者</p> <p>C-1 日本語・外国語により書かれた文章を理解し、文章や口頭発表により表現することができる。</p> <p>C-2 個人またはグループで計画的にプロジェクトを進め、創造的なシステムを実現し表現することができる。</p> <p>C-3 新しい電子・情報システム概念を創生し、表現することができる。</p>
---

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/curriculum.html">http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/curriculum.html</a>)</p>
--

**電子・情報システム工学専攻**では、利便性・効率性・信頼性そして持続的**社会形成**を考慮したメカトロニクス、情報システム、電子知能システムあるいはそれらを複合・融合した電子・情報システムが創生できる人材を育成する。具体的には、以下の教育目標に沿って教育課程を編成する。

1. 高等専門学校本科教育で修得した学力を基礎とし、さらに高度化・複合化した教育を行うために、応用数学・物理、技術者倫理、産業論、英語関連科目などの共通科目を編成し、環境に配慮した技術を取り扱う技術者としての科目を体系的に編成する。

2. 本科で身につけた電子・電気、機械及び情報通信分野の基礎知識やものづくり技術をベースに、これらの理論的な裏付けを行う科目、様々な応用システムに関する科目を横断的有機的に結合した教育課程を編成する。

3. 企業や他の教育機関との共同教育、問題発見・解決力育成を目指した PBL 教育\*、海外インターンシップ等の国際教育を行う科目を編成し、広い視野と柔軟な適応能力を育成する教育課程を編成する。

4. 実験・演習と特別研究を系統的に編成し、開発能力を有した創造的技術者を育成する教育課程を編成する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<http://www.oshima-k.ac.jp/exam/senkouka/gaiyou.html>)

(概要)

(専攻科)

1. 商船学もしくは工学の基本的な知識を習得している人
2. 基礎学力をさらに深め、実践力を有するデザイン能力を身につけたい人
3. 研究・開発能力を身につけ、自主的、継続的に努力できる人
4. 技術者倫理を尊重し、グローバルな視野を有する専門家として社会に貢献したい人

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/soshiki.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
校長	1人	一人					1人
商船学科	0人	6人	3人	0人	4人	0人	13人
電子機械工学科	1人	3人	5人	1人	0人	0人	10人
情報工学科	1人	4人	1人	1人	3人	0人	10人
一般科目	1人	6人	4人	3人	0人	0人	14人
練習船大島丸	0人	0人	2人	0人	2人	0人	4人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		14人					14人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="https://research.kosen-k.go.jp/researcher-list/?page=1&amp;limit=30&amp;affiliationId=6668000000">https://research.kosen-k.go.jp/researcher-list/?page=1&amp;limit=30&amp;affiliationId=6668000000</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
商船学科	40人	43人	107.5%	240人	239人	99.6%	若干名	0人
電子機械工学科	40人	40人	100.0%	200人	217人	108.5%	若干名	1人
情報工学科	40人	43人	107.5%	200人	215人	107.5%	若干名	1人
合計	120人	126人	105.0%	640人	670人	104.7%	若干名	2人
海洋交通システム学専攻	4人	1人	25.0%	8人	4人	50.0%	0人	0人
電子・情報システム工学専攻	8人	8人	100.0%	16人	26人	162.5%	0人	0人
合計	12人	9人	75.0%	24人	30人	125.0%	0人	0人
(備考) 編入学生2名は、留学生を含め2名。								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
商船学科	35人 (100%)	2人 (5.7%)	33人 (94.3%)	0人 (0%)
電子機械工学科	42人 (100%)	7人 (16.7%)	33人 (78.6%)	2人 (4.8%)
情報工学科	37人 (100%)	4人 (10.8%)	32人 (86.5%)	1人 (2.7%)
海洋システム学 専攻	2人 (100%)	1人 (50%)	1人 (50%)	0人 (0%)
電子・情報シス テム工学専攻	13人 (100%)	8人 (61.5%)	5人 (38.5%)	0人 (0%)
合計	129人 (100%)	22人 (17.1%)	104人 (80.6%)	3人 (2.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
前年度12月より、授業担当教員にシラバス作成を依頼し、1月末をめどに提出させている。2月末までに不備を確認し、Webシラバスの公開準備を行う。学生には、ホームページ上でのシラバスの確認、および、1回目の授業時に該当科目のシラバスを配布によって、授業の方法および内容、到達目標、成績評価等について周知している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
大島商船高等専門学校学業成績の評価並びに進級及び卒業に関する規程により、卒業を認定している。
(1) 学則に定める各学年の必修科目及び履修最低単位数に相応する選択科目を履修すること。

- (2) 修得累計単位数が167単位以上（そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上）であること。ただし、商船学科については、修得累計単位数が147単位以上（そのうち、一般科目75単位以上、専門科目62単位以上）であること。
- (3) 卒業研究を修得していること。
- (4) 商船学科については、大型練習船実習課程を修了していること。
- (5) 大型練習船実習課程のうち卒業年次の6月についてはやむを得ない事由により履修が困難であると校長が認める場合は、校長が別に定める措置とすることができる。
- (専攻科) 学則及び大島商船高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規程により、修了を認定している。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	商船学科	147 単位		
	電子機械工学科	167 単位		
	情報工学科	167 単位		
	海洋交通システム学 専攻	62 単位		
	電子・情報システム 工学専攻	62 単位		
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.oshima-k.ac.jp/school/introduce/campusmap.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	商船	234,600 円	84,600 円	約 60,750 円 ～61,950 円	スポーツ振興センター共済掛金 1,550 円 教科書代 約 40,000 円 学生会費 9,600 円 寄宿料 8,400 円～9,600 円 (寮生のみ) 寮生会費 1,200 円 (寮生の み)
	電子機械工				
	情報工				
	海洋交通シ ステム学専攻				
	電子・情報シ ステム工学専 攻				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

主な奨学金として、日本学生支援機構をはじめ、海技教育財団、山口県ひとつづくり財団、全日本海員組合・国際船員労務協会などがある。また、特別な事情により入学金や授業料の納付が著しく困難な場合は、選考のうえ入学金の全額または半額の納入免除を受けることができる。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

「すべての学生が自分の適性を活かし、自分の成長に結びつく進路を選択すること」を基本的な考え方とし、キャリア支援室を中心に取組を行っている。1,2年生はキャリア・ホームルーム、資格試験の取得、3年生は職業適性検査、後援会、企業訪問、4年生はインターシップ、就職・進学合同説明会、総合適正模擬試験、5年生は就職進学活動における個別相談などを中心に展開している。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

「友人関係」「健康上の悩み」「勉強の悩み」など、色々な悩みごとの相談を受けて、学生がそれらの問題を解決する手助けをすることを目的として学生相談室を設置している。相談員として、6名の教員と2名の看護師、カウンセラーとして3名の心理療法士（月4回来校）と1名の精神科医で運営している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

<http://www.oshima-k.ac.jp/other/pub-kyouiku.html>